

(1)人間科学研究科 人間科学専攻 博士前期課程 教育課程表（2014年度入学者から適用）

		授業科目	単位数			開講学期		担 任 教 員	備 考
			講義	演習	実習	前期	後期		
臨床心理学研究領域	臨床基本科目群	臨床心理学特論Ⅰ	2			○		教授 新 田 泰 生	
		臨床心理学特論Ⅱ	2			○		教授 博士(人間科学) 瀬 戸 正 弘	
		臨床心理面接特論Ⅰ	2			○		教授 杉 山 崇	
		臨床心理面接特論Ⅱ	2			○		教授 新 田 泰 生	
		臨床心理査定演習Ⅰ		2		○		教授 博士(人間科学) 瀬 戸 正 弘	
		臨床心理査定演習Ⅱ		2		○		教授 杉 山 崇	
	臨床実習科目群	臨床心理基礎実習Ⅰ			1	○		教授 杉 山 崇	複数担当
								教授 下 田 節 夫	
								教授 博士(人間科学) 瀬 戸 正 弘	
								教授 新 田 泰 生	
		臨床心理基礎実習Ⅱ			1	○		教授 杉 山 崇	複数担当
								教授 下 田 節 夫	
								教授 博士(人間科学) 瀬 戸 正 弘	
								教授 新 田 泰 生	
		臨床心理実習Ⅰ			1	○		教授 博士(人間科学) 瀬 戸 正 弘	複数担当
								教授 下 田 節 夫	
								教授 杉 山 崇	
								教授 新 田 泰 生	
								講師 小 野 京 子	
								講師 北 村 麻紀子	
								講師 黒 澤 礼 子	
								講師 高 橋 美 枝	
								講師 西 川 昌 弘	
								講師 森 口 修 三	
		臨床心理実習Ⅱ			1	○		教授 博士(人間科学) 瀬 戸 正 弘	
								教授 下 田 節 夫	
								教授 杉 山 崇	
								教授 新 田 泰 生	
								講師 小 野 京 子	
								講師 北 村 麻紀子	
								講師 黒 澤 礼 子	
								講師 高 橋 美 枝	
								講師 西 川 昌 弘	
								講師 森 口 修 三	
	A群	臨床心理学研究法特論	2				○	講師 末 武 康 弘	
		心理統計法特論	2			○		講師 博士(心理学) 五十嵐 由 夏	
	B群	人格心理学特論	2			○		講師 水 野 康 弘	
		発達心理学特論	2			○		教授 古 屋 喜美代	
	C群	人間関係学特論	2			○		講師 小 野 京 子	
		家族心理学特論	2			○		講師 村 尾 泰 弘	
	D群	精神医学特論	2				○	講師 櫻小路 岳 文	
		障害者心理学特論	2				○	講師 植木田 潤	
	E群	投影法特論	2				○	講師 北 村 麻紀子	
		遊戯療法特論	2			○		講師 橋 本 優	
		産業臨床心理学特論	2			○		教授 新 田 泰 生	
		学校臨床心理学特論	2				○	講師 博士(教育学) 生 田 倫 子	

	授業科目	単位数			開講学期		担 任 教 員	備 考
		講義	演習	実習	前期	後期		
人間科学研究領域	人間科学特論	2			○		教授 工学博士 齋 田 真 也 教授 横 倉 節 夫 教授 博士(学術) 山 下 昭 子 教授 大 西 勝 也 教授 博士(人間科学) 笠 間 千 浪 講師 博士(心理学) 五十嵐 由 夏 講師 文学博士 市 原 茂 朗 准教授 博士(学術) 前 原 吾 朗 教授 博士(心理学) 三 星 宗 雄 教授 工学博士 齋 田 真 也 講師 博士(心理学) 寺 尾 将 彦 講師 医学博士 和 氣 洋 美 講師 毛 束 真知子 教授 博士(学術) 山 下 昭 子 教授 大 後 栄 治 准教授 博士(医学) 石 井 哲 次 准教授 博士(人間科学) 衣 笠 竜 太 講師 仲 澤 真 一 講師 博士(学術) 飯 野 要 一 講師 博士(教育学) 渋谷 賢 幸 教授 工学博士 川 上 満 幸 教授 博士(理学) 平 井 誠 司 講師 博士(学術) 高 久 聡 司	複数担当
	人間形成特論	2				○		
	人間科学研究法特論	2			○			
	応用心理学特論	2			○			
	感性情報心理学特論	2				○		
	色彩環境心理学特論	2				○		
	安全人間情報工学特論	2				○		
	神経心理学特論	2			○			
	高齢者環境特論	2				○		
	認知障害特論	2				○		
	生涯スポーツ健康特論	2				○		
	コーチング特論	2			○			
	運動処方特論	2				○		
	生体機能特論	2				○		
	スポーツ社会学特論	2			○			
	バイオメカニクス特論	2				○		
	スポーツ心理学特論	2				○		
	産業人間科学特論	2			○			
	地域調査法特論	2				○		
	社会統計法特論	2				○		
	地域社会学特論	2				○		
	現代社会特論	2			○		教授 寺 沢 正 晴 教授 博士(工学) 松 本 安 生 教授 入 江 直 子	休講
	環境科学特論	2				○		
	社会教育特論	2			○			
演習・研究	人間科学事例研究		2		○		教授 博士(人間科学) 笠 間 千 浪 教授 工学博士 齋 田 真 也 教授 大 後 栄 治 教授 博士(理学) 平 井 誠 司 教授 博士(工学) 松 本 安 生 教授 博士(心理学) 三 星 宗 雄 教授 博士(学術) 山 下 昭 子 准教授 博士(人間科学) 衣 笠 竜 太 准教授 博士(学術) 前 原 吾 朗	
	人間科学特別研究		4		○	○	教授 博士(人間科学) 笠 間 千 浪 教授 工学博士 齋 田 真 也 教授 杉 山 崇 弘 教授 博士(人間科学) 瀬 戸 正 弘 教授 大 後 栄 治 教授 新 田 泰 生 教授 博士(理学) 平 井 誠 司 教授 博士(工学) 松 本 安 生 教授 博士(心理学) 三 星 宗 雄 教授 博士(学術) 山 下 昭 子 准教授 博士(人間科学) 衣 笠 竜 太 准教授 博士(学術) 前 原 吾 朗	

指導教授

1. 学生は、入学試験の区分により決定された研究領域・研究分野に所属し、指導を受ける担当教員（以下、指導教授という）から研究全般の指導を受けるものとする。
2. 指導教授は原則としてこれを変更することはできない。やむを得ない事情により変更する場合は、研究科委員会の承認を必要とする。
3. 指導教授が学生の研究上必要と認める場合には、従たる指導教授の指導を受けることができる。
4. 従たる指導教授はこれを年度ごとに変更することができる。
5. 従たる指導教授については、研究科委員会に届け出るものとする。

履修方法

1. 指導教授の指導によって、合計30単位以上を修得すること。学生の授業科目履修は、指導教授の指導および助言を得て行うものとする。
2. 指導教授による演習科目「人間科学特別研究」はこれを必修とし、2年間にわたり8単位を修得しなければならない。なお、指導教授が学生の研究上必要と認める場合には、従たる指導教授による演習科目「人間科学特別研究」を8単位まで履修することができ、修了要件単位に4単位まで算入することができる。
3. 修業年限の短縮が認められた者については、前項にかかわらず、演習科目「人間科学特別研究」を、指導教授の開講する科目4単位及び従たる指導教授の開講する科目4単位を修得すること。
4. 長期履修を認められた者（修業年限が3年または4年）については、指導教授による演習科目「人間科学特別研究」を8単位修得すること。なお、指導教授による演習科目「人間科学特別研究」、従たる指導教授による演習科目「人間科学特別研究」を長期履修終了時まで毎年度履修することができる。ただし、修了要件単位に算入できる修得単位は、指導教授による演習科目「人間科学特別研究」8単位、従たる指導教授による演習科目「人間科学特別研究」4単位を上限とする。
5. 指導教授が学生の研究上必要と認める場合には、他の研究科または学部の課程による単位を8単位まで履修することができる。
また、他大学大学院（神奈川県内の大学院間の単位互換協定校）の授業科目を10単位まで、「人間科学研究領域」の学生のみ履修することができる。
6. 上記5の修得単位は、8単位を上限として修了要件単位に算入することができる。
ただし、修業年限の短縮が認められた者については、学部の課程による単位を修了要件単位に算入することができない。
7. 講義科目「人間科学特論」および演習科目「人間科学事例研究」は、「人間科学研究領域」の学生についてはこれを必修とする。なお、演習科目「人間科学事例研究」は、2年次前期（修業年限の短縮が認められた者については1年次前期）に、原則として指導教授の開講する科目2単位を修得しなければならない。
8. 「臨床基本科目群」、「臨床実習科目群」及び「E群」の授業科目は、「臨床心理学研究領域」の学生のみ履修することができる。
9. 「臨床心理学研究領域」の学生で、「臨床心理士」の受験資格を取得しようとする者は、「人間科学特別研究」（2年間にわたり8単位を修得）のほかに、「臨床基本科目群」6科目12単位、「臨床実習科目群」4科目4単位に加え、A～E群から、それぞれ1科目、計10単位以上を修得すること。

修了要件

1. 博士前期課程の修了要件は、本研究科に2年以上（修業年限の短縮が認められた者については1年以上）在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。
2. 修士論文の審査を申請し得る者は、博士前期課程2年次以上（修業年限の短縮が認められた者については博士前期課程1年次以上）に在学し、所定の授業科目について20単位以上を修得し、かつ、本研究科の指定する方法により外国語の学力に関する認定に合格した者に限る。

(2)人間科学研究科 人間科学専攻 博士前期課程 教育課程表（2011年度入学者から適用）

	授業科目	単位数			開講学期		担 任 教 員	備 考
		講義	演習	実習	前期	後期		
臨床心理学研究領域	臨床基本科目群	臨床心理学特論Ⅰ	2			○	教授 新 田 泰 生	
		臨床心理学特論Ⅱ	2			○	教授 博士(人間科学) 瀬 戸 正 弘	
		臨床心理面接特論Ⅰ	2			○	教授 杉 山 崇	
		臨床心理面接特論Ⅱ	2			○	教授 新 田 泰 生	
		臨床心理査定演習Ⅰ		2		○	教授 博士(人間科学) 瀬 戸 正 弘	
		臨床心理査定演習Ⅱ		2		○	教授 杉 山 崇	
	臨床実習科目群	臨床心理基礎実習Ⅰ			1	○	教授 杉 山 崇	複数担当
							教授 下 田 節 夫	
							教授 博士(人間科学) 瀬 戸 正 弘	
		臨床心理基礎実習Ⅱ			1	○	教授 新 田 泰 生	複数担当
							教授 杉 山 崇	
							教授 下 田 節 夫	
		臨床心理実習Ⅰ			1	○	教授 博士(人間科学) 瀬 戸 正 弘	複数担当
							教授 新 田 泰 生	
							教授 博士(人間科学) 瀬 戸 正 弘	
							教授 下 田 節 夫	
							教授 杉 山 崇	
							教授 新 田 泰 生	
							講師 小 野 京 子	
							講師 北 村 麻紀子	
							講師 黒 澤 礼 子	
							講師 高 橋 美 枝	
							講師 西 川 昌 弘	
							講師 森 口 修 三	
		臨床心理実習Ⅱ			1	○	教授 博士(人間科学) 瀬 戸 正 弘	複数担当
							教授 下 田 節 夫	
							教授 杉 山 崇	
							教授 新 田 泰 生	
							講師 小 野 京 子	
							講師 北 村 麻紀子	
							講師 黒 澤 礼 子	
							講師 高 橋 美 枝	
							講師 西 川 昌 弘	
							講師 森 口 修 三	
	A 群	臨床心理学研究法特論	2			○	講師 末 武 康 弘	
		心理統計法特論	2			○	講師 博士(心理学) 五十嵐 由 夏	
	B 群	人格心理学特論	2			○	講師 水 野 康 弘	
		発達心理学特論	2			○	教授 古 屋 喜美代	
	C 群	人間関係学特論	2			○	講師 小 野 京 子	
		家族心理学特論	2			○	講師 村 尾 泰 弘	
	D 群	精神医学特論	2			○	講師 櫻小路 岳 文	
		障害者心理学特論	2			○	講師 植木田 潤	
	E 群	投影法特論	2			○	講師 北 村 麻紀子	
		遊戯療法特論	2			○	講師 橋 本 優	
		産業臨床心理学特論	2			○	教授 新 田 泰 生	
		学校臨床心理学特論	2			○	講師 博士(教育学) 生 田 倫 子	

	授業科目	単位数			開講学期		担 任 教 員	備 考
		講義	演習	実習	前期	後期		
人間科学研究領域	人間科学特論	2			○		教授 工学博士 斎 田 真 也 教授 横 倉 節 夫 教授 博士(学術) 山 下 昭 子 教授 大 西 勝 也 教授 博士(人間科学) 笠 間 千 浪 講師 博士(心理学) 五十嵐 由 夏 講師 文学博士 市 原 茂 准教授 博士(学術) 前 原 吾 朗 教授 博士(心理学) 三 星 宗 雄 教授 工学博士 斎 田 真 也 講師 博士(心理学) 寺 尾 将 彦 講師 医学博士 和 氣 洋 美 講師 毛 束 真知子 教授 博士(学術) 山 下 昭 子	複数担当
	人間形成特論	2				○		
	人間科学研究法特論	2			○			
	応用心理学特論	2			○			
	感性情報心理学特論	2			○			
	色彩環境心理学特論	2			○			
	安全人間情報工学特論	2			○			
	神経心理学特論	2			○			
	高齢者環境特論	2			○			
	認知障害特論	2			○			
	生涯健康特論	2			○			
	スポーツ産業特論	2			○			休講
	スポーツ政策特論	2			○			休講
	生涯スポーツ特論	2			○			休講
	地域スポーツ経営特論	2			○			休講
	コーチング特論	2			○		教授 大 後 栄 治	
	スポーツマネジメント特論	2			○			休講
	運動処方特論	2			○		准教授 博士(医学) 石 井 哲 次 准教授 博士(人間科学) 衣 笠 竜 太 講師 仲 澤 真 教授 博士(理学) 平 井 誠 講師 博士(学術) 高 久 聡 司	
	スポーツ社会学特論	2			○			
	地域調査法特論	2			○			
	社会統計法特論	2			○			
	地域社会学特論	2				○		休講
	現代社会特論	2			○		教授 寺 沢 正 晴 教授 博士(工学) 松 本 安 生 教授 入 江 直 子	
	環境科学特論	2			○			
	社会教育特論	2			○			
演習・研究	人間科学事例研究		2		○		教授 博士(人間科学) 笠 間 千 浪 教授 工学博士 斎 田 真 也 教授 大 後 栄 治 教授 博士(理学) 平 井 誠 教授 博士(工学) 松 本 安 生 教授 博士(心理学) 三 星 宗 雄 教授 博士(学術) 山 下 昭 子 准教授 博士(人間科学) 衣 笠 竜 太 准教授 博士(学術) 前 原 吾 朗	
	人間科学特別研究		4		○	○	教授 博士(人間科学) 笠 間 千 浪 教授 工学博士 斎 田 真 也 教授 杉 山 崇 弘 教授 博士(人間科学) 瀬 戸 正 弘 教授 大 後 栄 治 教授 新 田 泰 生 教授 博士(理学) 平 井 誠 教授 博士(工学) 松 本 安 生 教授 博士(心理学) 三 星 宗 雄 教授 博士(学術) 山 下 昭 子 准教授 博士(人間科学) 衣 笠 竜 太 准教授 博士(学術) 前 原 吾 朗	

指導教授

1. 学生は、入学試験の区分により決定された研究領域・研究分野に所属し、指導を受ける担当教員（以下、指導教授という）から研究全般の指導を受けるものとする。
2. 指導教授は原則としてこれを変更することはできない。やむを得ない事情により変更する場合は、研究科委員会の承認を必要とする。
3. 指導教授が学生の研究上必要と認める場合には、従たる指導教授の指導を受けることができる。
4. 従たる指導教授はこれを年度ごとに変更することができる。
5. 従たる指導教授については、研究科委員会に届け出るものとする。

履修方法

1. 指導教授の指導によって、合計30単位以上を修得すること。学生の授業科目履修は、指導教授の指導および助言を得て行うものとする。
2. 指導教授による演習科目「人間科学特別研究」はこれを必修とし、2年間にわたり8単位を修得しなければならない。なお、指導教授が学生の研究上必要と認める場合には、従たる指導教授による「人間科学特別研究」を8単位まで履修することができ、修了要件単位に算入することができる。
3. 修業年限の短縮が認められた者については、前項にかかわらず、演習科目「人間科学特別研究」を、指導教授の開講する科目4単位及び従たる指導教授の開講する科目4単位を修得すること。
4. 長期履修を認められた者（修業年限が3年または4年）については、指導教授による演習科目「人間科学特別研究」を8単位修得すること。なお、2013年度入学者から、指導教授による演習科目「人間科学特別研究」、従たる指導教授による演習科目「人間科学特別研究」を長期履修終了時まで毎年度履修することができる。ただし、修了要件単位に算入できる修得単位は、それぞれ8単位を上限とする。
5. 指導教授が学生の研究上必要と認める場合には、他の研究科または学部の課程による単位を8単位まで履修することができる。
また、他大学大学院（神奈川県内の大学院間の単位互換協定校）の授業科目を10単位まで、「人間科学研究領域」の学生のみ履修することができる。
6. 上記5の修得単位は、8単位を上限として修了要件単位に算入することができる。
ただし、修業年限の短縮が認められた者については、学部の課程による単位を修了要件単位に算入することができない。
7. 演習科目「人間科学事例研究」は、「人間科学研究領域」の学生についてはこれを必修とし、2年次前期（修業年限の短縮が認められた者については1年次前期）に、原則として指導教授の開講する科目2単位を修得しなければならない。
8. 「臨床基本科目群」、「臨床実習科目群」及び「E群」の授業科目は、「臨床心理学研究領域」の学生のみ履修することができる。
9. 「臨床心理学研究領域」の学生で、「臨床心理士」の受験資格を取得しようとする者は、「人間科学特別研究」（2年間にわたり8単位を修得）のほかに、「臨床基本科目群」6科目12単位、「臨床実習科目群」4科目4単位に加え、A～E群から、それぞれ1科目、計10単位以上を修得すること。

修了要件

1. 博士前期課程の修了要件は、本研究科に2年以上（修業年限の短縮が認められた者については1年以上）在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。
2. 修士論文の審査を申請し得る者は、博士前期課程2年次以上（修業年限の短縮が認められた者については博士前期課程1年次以上）に在学し、所定の授業科目について20単位以上を修得し、かつ、本研究科の指定する方法により外国語の学力に関する認定に合格した者に限る。

(3)人間科学研究科 人間科学専攻 博士後期課程 教育課程表 (2011年度入学者から適用)

授業科目	単位数		開講学期		担 任 教 員	備 考
	講義	演習	前期	後期		
人間科学文献研究		2	○		教授 博士(人間科学) 笠 間 千 浪 教授 工学博士 斎 田 真 也 教授 杉 山 崇 教授 博士(人間科学) 瀬 戸 正 弘 教授 大 後 栄 治 教授 新 田 泰 生 教授 博士(理学) 平 井 誠 教授 博士(工学) 松 本 安 生 教授 博士(心理学) 三 星 宗 雄 教授 博士(学術) 山 下 昭 子 准教授 博士(人間科学) 衣 笠 竜 太 准教授 博士(学術) 前 原 吾 朗	
人間科学企画研究		2		○	教授 博士(人間科学) 笠 間 千 浪 教授 工学博士 斎 田 真 也 教授 杉 山 崇 教授 博士(人間科学) 瀬 戸 正 弘 教授 大 後 栄 治 教授 新 田 泰 生 教授 博士(理学) 平 井 誠 教授 博士(工学) 松 本 安 生 教授 博士(心理学) 三 星 宗 雄 教授 博士(学術) 山 下 昭 子 准教授 博士(人間科学) 衣 笠 竜 太 准教授 博士(学術) 前 原 吾 朗	
人間科学課題研究		2	○		教授 博士(人間科学) 笠 間 千 浪 教授 工学博士 斎 田 真 也 教授 杉 山 崇 教授 博士(人間科学) 瀬 戸 正 弘 教授 大 後 栄 治 教授 新 田 泰 生 教授 博士(理学) 平 井 誠 教授 博士(工学) 松 本 安 生 教授 博士(心理学) 三 星 宗 雄 教授 博士(学術) 山 下 昭 子 准教授 博士(人間科学) 衣 笠 竜 太 准教授 博士(学術) 前 原 吾 朗	
人間科学実践研究		2		○	教授 博士(人間科学) 笠 間 千 浪 教授 工学博士 斎 田 真 也 教授 杉 山 崇 教授 博士(人間科学) 瀬 戸 正 弘 教授 大 後 栄 治 教授 新 田 泰 生 教授 博士(理学) 平 井 誠 教授 博士(工学) 松 本 安 生 教授 博士(心理学) 三 星 宗 雄 教授 博士(学術) 山 下 昭 子 准教授 博士(人間科学) 衣 笠 竜 太 准教授 博士(学術) 前 原 吾 朗	
人間科学特殊研究		4	○	○	教授 博士(人間科学) 笠 間 千 浪 教授 工学博士 斎 田 真 也 教授 杉 山 崇 教授 博士(人間科学) 瀬 戸 正 弘 教授 大 後 栄 治 教授 新 田 泰 生 教授 博士(理学) 平 井 誠 教授 博士(工学) 松 本 安 生 教授 博士(心理学) 三 星 宗 雄 教授 博士(学術) 山 下 昭 子 准教授 博士(人間科学) 衣 笠 竜 太 准教授 博士(学術) 前 原 吾 朗	

指 導 教 授

1. 学生は、入学試験の区分により決定された研究領域・研究分野に所属し、指導を受ける担当教員（以下、指導教授という）から研究全般の指導を受けるものとする。
2. 指導教授は原則としてこれを変更することはできない。やむを得ない事情により変更する場合は、研究科委員会の承認を必要とする。
3. 指導教授が学生の研究上必要と認める場合には、従たる指導教授の指導を受けることができる。
4. 従たる指導教授はこれを年度ごとに変更することができる。
5. 従たる指導教授については、研究科委員会に届け出るものとする。

履 修 方 法

1. 指導教授の指導によって、合計20単位以上を修得すること。学生の授業科目履修は、指導教授の指導及び助言を得て行うものとする。
2. 指導教授による演習科目「人間科学特殊研究」はこれを必修とし、3年間にわたり12単位を修得しなければならない。
3. 指導教授による他の4つの演習科目はこれを必修とし、1年次に「人間科学文献研究」（2単位）及び「人間科学企画研究」（2単位）を、2年次に「人間科学課題研究」（2単位）及び「人間科学実践研究」（2単位）を修得しなければならない。
4. 指導教授が学生の研究上必要と認める場合には、従たる指導教授による「人間科学特殊研究」を、12単位まで履修することができる。
5. 指導教授が学生の研究上必要と認めたときは、他の研究科又は本研究科博士前期課程による単位を4単位まで履修することができる。
また、他大学大学院（神奈川県内の大学院間の単位互換協定校）の授業科目を10単位まで、「人間科学研究領域」の学生のみ、履修することができる。
6. ただし、上記4と5で修得した単位は、修了要件単位に算入することができない。

修 了 要 件

1. 博士後期課程の修了要件は、博士後期課程に3年以上在学し、20単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。
2. 博士論文の審査を申請し得る者は、博士後期課程において、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ本研究科の指定する方法により外国語の学力に関する認定に合格した者に限る。